

No.67



小平市図書館だより

発行：小平市立図書館 平成 21 年 9 月 問合せ：小平市中央図書館 〒187-0032 小平市小川町 2 - 1325 TEL 042-345-1246



平成 21 年 7 月 22 日撮影

小平のまちの移り変わり

* 青梅街道 *

～小平市小川町 1 丁目 2370 番地付近～

青梅街道は、小平市を東西に通る道路であり、生活上、産業上でも大切な道路です。また、都市の自然的景観を保全し、良好な都市環境の維持を目的として指定された風致地区（注）でもあります。



昭和 31 年頃撮影 飯山達雄氏寄贈写真

注：風致地区（ふうちちく）

玉川上水の歴史的価値および同地区を貫く緑の帯の保全と旧街道沿いに残る武蔵野特有のけやきを主体とした屋敷林による街道の並木景観の保全とを目的としたものである。なお、小平市は、玉川上水・青梅街道・鈴木街道・東京街道の 4 地区が指定されている。

「小平市 30 年史より」

～行事予定～

○講演会

☆**児童文学講演会「私の歩んで来た道」岩崎京子氏**

10月29日（木）午前10時～正午 小川西町図書館

☆**大人のためのおはなし会**

11月12日（木）午前10時～正午 喜平図書館

☆**福祉講演会 平井秀夫氏**

11月21日（土）午前10時30分～正午 小川西町図書館

☆**児童文学講演会「絵本に描かれた家族」市村久子氏**

11月26日（木）午前10時～正午 花小金井図書館

☆**児童文学講演会「赤毛のアン」が生まれるまで～村岡花子の生涯～（仮題）村岡恵理氏**

12月10日（木）午前10時～正午 中央図書館

○展示会（会場 中央図書館 2階展示ギャラリー）

★「はらだたけひで絵本原画展」9月19日（土）～11月18日（水）

★「赤毛のアン」と村岡花子（仮題）11月21日（土）～平成22年1月20日（水）（予定）

～各館紹介～

大沼図書館



大沼図書館は、2001年1月に開館した市内で8番目の図書館です。現在、約73,000冊を所蔵しています。同じフロアに公民館が併設されています。



市内在住著作者本・地方出版物コーナー

市内在住著作者本

小平市に在住している(いた)方の著作物を収集しています。現在約2,470冊の蔵書があります。怪盗ルパンを訳した南洋一郎(池田宣政)や、尾辻克彦、笹沢左保、佐多稲子、千葉省三などの本があります。

地方出版物

全国の地方出版社が刊行した図書を収集しています。全国を8つの地域(北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州)に分けて、歴史、民話、郷土料理、祭りなど、地方出版社発行の特色ある資料を収集しています。現在約2,550冊の蔵書があります。

おはなし会・絵本のへや



おはなし会

おはなしと絵本の読み聞かせ

第2水曜日・第4木曜日

3:00～3:30頃・・・4歳～小学1年生対象

4:00～4:30頃・・・小学生対象



絵本のへや

絵本の読み聞かせと手遊び

第2水曜日

11:00～11:20頃

0～3歳対象

保護者同伴 出入り自由



児童展示コーナー。季節ごとにテーマを決めて展示しています。9月には「おじいちゃん・おばあちゃん」の絵本を展示しています。



アクセス:

西武新宿線小平駅より徒歩15分。駐車場有。

所在地:

小平市大沼町1-128

☎042(342)2001

* 都営大沼町1丁目
アパート17号棟の
1階にあります。



館マークの由来・・・小平の昔話「おかま風(かぜ)」に登場するかまどの神様『おかまさま』が、馬に乗って出雲大社に向かっていると、馬をモチーフにしています。(出典:「小平むかしむかし」小平民話の会編)



皆様のお越しを心よりお待ちしております。

図書館の謎

ミステリー7

マヘンドラ・プラタプへの旅1

＜ある日、遠方よりお電話をいただく。「マヘンドラ・プラタプ(MAHENDRA・PULATAP)という人の記録・著書があれば探してほしい」とのこと。

???これがレファレンス調査へ長い旅の始まりだった。＞

平成15年、レファレンス（調べものの相談）として「プラタプ」のことを尋ねられました。プラタプ？、誰？、という感じでしたので、さらにお話を伺うと「プラタプはインドの王族だったが、インド独立運動に関して追放され、アフガニスタン国籍になった。戦争が始まってから『世界連盟』を作ろうという理想のもとに小平に本部を置いたらしい。その場所、活動状況、現在どうなっているか知りたい」とのことでした。

全く聞き覚えもなくしばし唖然でしたので、何でお知りになったのか、(典拠といいます)が、レファレンスを受けるときはこれが重要です)をお聞きしますと「プラタプの著書『愛の宗教』の序文(大川周明著)に記述があった」とのことだそうです。



一部の大学図書館のみの所蔵。その他の著作もすぐに借用できそうな図書館が見つかりません。それではマヘンドラ・プラタプ自身について知ろうと人名事典を片っ端から調べてみましたが、手がかりはつかめません。次に小平関係の資料『小平町誌』『小平市三〇年史』『郷土こいだいら』『ききがき』のシリーズ、『多摩のあゆみ』等を調べましたが全くなにも出てきません。

少し以前からレファレンスにもインターネットから情報を収集するようになってきていましたので、何か手がかりをつかみたいと Google で「プラタプ」を検索してみました。すると興味深いページが見つかり、プラタプの人物像がかなりはっきりしてきました。大正9年(1920)から大正15年(1926)にかけてのプラタプに関する新聞記事によると、彼はアフガニスタン特派使節としてたびたび来日しています。大正9年12月1日の神田青年会館で開催された「復興亜細亜講演会」には印度新思想家ボース(注1)、大川周明(注2)などと出席しています。大正14年5月の来日時には「印度人ボス君宅に落ち着いた」などあります。

プラタプ本人の手がかりがないので、これらの記事の中で彼と関係があった周辺人物から追っていくしかない、と思われました。

注1 印度新思想家ボース

ラス・ビハリ・ボース(1886～1945) インド独立運動提唱者。

革命運動にかかわったため、インドを逃れ日本に亡命した。1915年来日し、中村屋にかくまわれ、後に中村屋の長女相馬俊子と結婚し、1923年に日本に帰化した。

注2 大川周明(1886～1957)

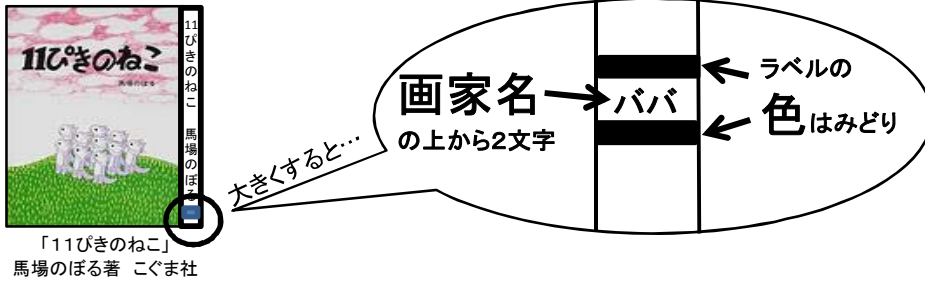
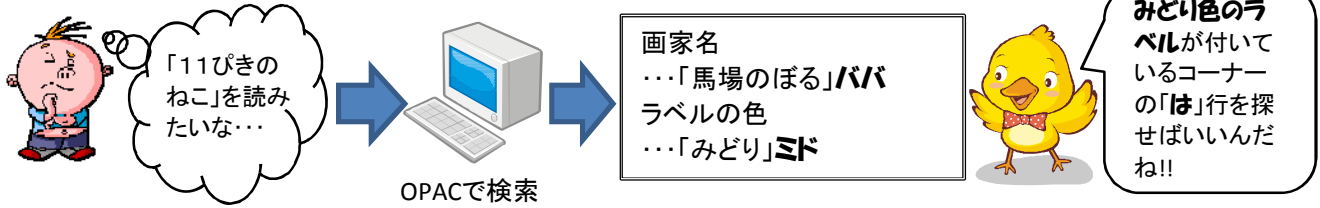
国家主義運動家。1915年、ボースと出会いインド独立運動に関与した。

絵本探しのワザ!



絵本の並び方はむずかしい…。そこで、絵本をうまく探すワザを大公開!

絵本は画家名の五十音順にならんでいます。絵本の書名がわかっているときは、OPAC(検索機)で画家名とラベルの色を調べてから探しましょう。



本が見つからないときは、お気軽に職員までお尋ねください。

ラベルの色	内容	並び順
桃(モモ)	幼児向けの絵本、はじめての絵本	画家名の五十音順
黄(キイ)	外国人が絵をかいた絵本(ものがたり)	
緑(ミド)	日本人が絵をかいた絵本(ものがたり)	
灰(ハイ)	外国語で書かれた絵本	画家名のアルファベット順
赤(アカ)	昔話の絵本	書名の五十音順
青(アオ)	知識の絵本(ものがたり以外の絵本)	分類番号順

昔話の絵本は、ももたろうのように複数の画家によって描かれることが多いので、**書名の五十音順**に並んでいます。



Q. 絵本はなぜ画家名の五十音順に並んでいるの?

A. 書名の順と同じ画家の絵本がバラバラになってしまうからです。

学校図書館の紹介 小平市立花小金井小学校



花小図書館は2階の職員室近く、どの教室からも行きやすい場所にあり、豊かな読書生活のために、たくさんの取り組みをしています。

本の世界を楽しんでもらえるようボランティアの方が作った季節の装飾は、廊下と室内にあります。なかよし池のカエル、運動会の様子など、花小ならではの装飾で、月ごとに変わるので子供たちの期待も高いです。また図書委員や図書館相談員、司書教諭のおすすめ本の展示もあります。季節や行事、テーマに合わせた選書で、本の帯、ポップ、ポスターなど、表示の仕方も様々です。

全教職員のおすすめ本は、二学期の初めに展示します。左上の写真をご覧ください。算数専科のすすめる『素数ゼミ』の本、栄養士がすすめる『みかんのひみつ』など、様々なおすすめ本を紹介しており、子供たちは、手に取って借りていきます。こうした子供の姿を見る度に、子供が本を読む姿は美しいなあ、と思います。

親子で本の世界を楽しむ「親子読書」も毎年行っています。「親子読書カード」からは、仲良く読書を楽しむ兄弟や親子の会話が聞こえてきます。学年に応じて選ぶ本が異なり、親子の交流の仕方も異なるようですが、子供にも保護者にも好評です。

以上のことに加えて、先生方による読み聞かせ、ブックトーク、図書委員の読書集会など、工夫を凝らした取り組みをしています。これからも本に手を伸ばし、本に親しむ子供を育てていきたいと思っています。

フクロウ博士の図書館活用百科

～図書館職員はリクエストされた資料をどうやって探しているのか？～

Q. 図書館の人は、本をどうやって探しているのですか？

A. 都立図書館や国会図書館、出版社や書店のホームページで探しています。



図書館では利用者の皆様から、1日平均約600件のリクエストをいただいています。日々うれしい悲鳴をあげながら対応していますが、**図書館で所蔵していない資料をリクエスト**された場合は少し緊張します。所蔵していないということは、図書館のデータベースに存在しないからです。はたしてその資料にたどりつくことができるのか？ 楽しみにお待ちいただいている利用者に、お届けすることができるのか？ 主な探し方は以下のとおりです。

1. ある著者の最新作で、題名も出版社も不明な場合。

→**佐伯泰英の最新作だが、題名も出版社もわからない**というリクエストをいただきました。まずは書店のホームページなどで、**著者「佐伯泰英」、出版年を2009年**にして検索します。リクエストされた利用者の方には、「どこでこの本のことを知りましたか？」などのおたずねをします。本にたどりつく最高のヒントはリクエストされた本人が持っています。新聞の広告欄で見たのであれば、出版されているか近日中に出版されるかのどちらかです。著者の雑誌インタビューなどに掲載されていた場合ですと、まだ出版日が決まっていない可能性が高いです。お探しの本は何日か前の朝日新聞で見たとのこと。残念ながら**書店のホームページ**で検索した結果をご覧くださいても、「こういう書名ではなかった」とのことでした。その場合は佐伯泰英の本を出している**出版社のホームページ**を確認します。書名が2文字ですと、講談社、徳間書店、光文社、祥伝社などが考えられます。お探しの本は祥伝社文庫の『相剋(そうこく)』でした。新刊書の場合は、書名が特定できれば入手は容易です。書店にて購入をして、利用者に提供することができました。



2. 十数年前に出版された英会話の本

→**書名は「海外旅行出発30分前の英会話」、著者は「竹谷敬造」という本**のリクエストをいただきました。ヒントは十数年前に出版されたいという利用者の記憶。まず書店のホームページで、書名を検索します。1991年に出版されたことはわかりましたが、絶版のため購入することができません。となればどこかの図書館から借用させてもらいます。ほんの数年前までは「この本を探しています」というFAXを図書館同士でやりとりしていました。迷子になった猫を、電柱に張り紙をして探すような作業です。時間もかかります。一か月で

【裏面に続く】

見つければ早いほうでした。インターネットの発達により今ではほとんどの図書館がホームページを持ち、所蔵している資料の検索が可能になりました。さて、都立図書館のホームページには、**東京都立図書館横断検索**という機能があり、都内の公立図書館が所蔵している資料を効率よく探すことができます。書名を入力して検索します。約3分間で、都内では福生市立図書館のみが所蔵していることがわかりました。たった数年で、数か月かかっていた時間が数分に短縮することができるようになったのです。福生市に借用依頼をして、利用者に提供することができました。

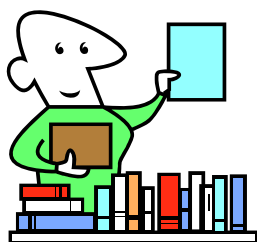
3. 図書館に所蔵していない雑誌のバックナンバー

→雑誌名「**海洋と生物**」**2000年2月号**というリクエストをいただきました。残念ながら図書館に所蔵していない雑誌は、リクエストいただいた号だけ購入することができません。新聞・雑誌は継続して所蔵することに意味があり、資料としての価値が存在します。特定の号の雑誌、あるいは特定の日付の新聞だけ所蔵しても、あまり役にはたたないのです。選択肢としては、どこかの図書館から借用するのみになります。都立図書館のホームページには、**区市町村立図書館新聞雑誌総合目録**があります。日本語新聞、外国語新聞、日本語雑誌、外国語雑誌の4つに分かれていて、アルファベット順、五十音順などで表示されています。例「サイクルスポーツ」小平市 上宿図書館 保存期間2年間 などのように表示されます。さて『海洋と生物』は世田谷区立図書館が所蔵していました。保存庫で10年保存していると表示してあります。世田谷区立図書館のホームページで、2000年2月号を所蔵していることを確認。世田谷区に借用依頼をして、利用者に提供することができました。



いかがでしたでしょうか？ このような方法で1日平均約600件のリクエストに対応し、見つけれない本を数冊まで減らしています。残る数冊の本とは？ 一番多いのは、出版されていなかったというものです。出版予定の本が著者の急病や出版社の事情などで出版されないことは、意外と多いのです。また架空の本を出典とする漫画や小説が時々あり、その架空の本をリクエストされるケースもあります。この世に存在しない本なので、いくら探してもたどりつけないのです。そんな??? という例もあります。それは書名も作者も出版社も違っているという状況です。どうしても本が特定できず利用者の方に再度おうかがいしたところ、勘違いされていたことがわかりました。ここで図書館からお願いがあります。

新聞やテレビで読みたい本を見つけたら、書名や出版社をメモしてください。人間の記憶は、申し訳ないのですがあまりあてにならないのです。珍しい例もあります。ある雑誌の最新号が



読みたいということで調べていると、その雑誌は米国で出版されましたが100年以上前に休刊になっていることがわかりました。結果をお知らせするとリクエストされた方も驚いていました。雑誌を入手することは不可能でしたが、米国の出版社のオンライン有料サービスでは閲覧可能なことがわかりました。その旨を説明して終了。また新たな600件のリクエストとの闘いが始まります。